

第46回 星が丘公民館まつり



初参加の星が丘カルタの会



子育て広場
アンパンマンの前で



野菜の350gあてクイズ



展示に見入るこどもたち



雨でもにぎやかに談笑



星が丘鼓笛隊の演奏



絵手紙の体験

公民館まつりを通して色々な作品を見たり体験した事がきっかけで自分のやりたい事を見つけ、始めた方もいます。公民館の事業も年間を通してたくさんありますので、ぜひご参加ください。

来年はあなたが主役かも知れません。

2日目は雨にもかかわらず、多くの人が来てくれました。

茶室では、子ども達が生け花を体験していました。「お花の顔が自分の方に向くようにね」と講師の方のアドバイスを受け、ペットボトルを半分に切った器に花を挿していきます。

「うまくできたよ」「楽しかった」と子ども達。30人分用意していたお花もたちまち全てなくなりました。

大会議室では、年に一度演奏や歌、踊りの発表会。日頃の練習の成果を披露していました。一団体20分という短い時間でしたが、皆さん満足そうな顔でした。最後は、みんなで合唱です。指揮の小林祥子先生から「大きな声で。音が外れてもいいんです。」と嬉しいお言葉が。一層、大きな歌声が響きました。

公民館まつりを通して色々な作品を見たり体験した事がきっかけで自分のやりたい事を見つけ、始めた方もいます。公民館の事業も年間を通してたくさんありますので、ぜひご参加ください。

来年はあなたが主役かも知れません。

3月2日(土)、3日(日)両日に渡り公民館まつりが開催されました。1日目はお天気に恵まれ、おまつり日和。小さなお子さんがいる家族連れや、小学生が楽しそうに模擬店のはしごをしていました。

館内1階の大会議室ではメインイベントとなる津田佳世子さんのハーモニカのコンサートが開催されました。津田さんのコンサートはこれで2回目になり、演奏を聴いたことがある方はこのコンサート以前から楽しみにしていたようで、大会議室は満員で立ち見もするほどの人気でした。

2日目は雨にもかかわらず、多くの人が来てくれました。

茶室では、子ども達が生け花を体験していました。「お花の顔が自分の方に向くようにね」と講師の方のアドバイスを受け、ペットボトルを半分に切った器に花を挿していきます。

「うまくできたよ」「楽しかった」と子ども達。30人分用意していたお花もたちまち全てなくなりました。



小学生でも上手に生けるよ



今年度より新競技として始めました。

ペタンクは南フランスの小さな港町が発祥のスポーツで、「足をそろえる」という意味です。来年の東京パラリンピックでも公式種目有力候補となっており、さらに広めていきたいと思っています。

誰でも楽しめ、すぐにゲームができます。第2回めの今回は体育館の中で行いました。来年度からは、年3回に講習会を予定していますのでふるってご参加ください。

今年度より新競技として始めました。

ペタンクは南フランスの小さな港町が発祥のスポーツで、「足をそろえる」という意味です。来年の東京パラリンピックでも公式種目有力候補となっており、さらに広めていきたいと思っています。

誰でも楽しめ、すぐにゲームができます。第2回めの今回は体育館の中で行いました。来年度からは、年3回に講習会を予定していますのでふるってご参加ください。

今年度より新競技として始めました。

ペタンクは南フランスの小さな港町が発祥のスポーツで、「足をそろえる」という意味です。来年の東京パラリンピックでも公式種目有力候補となっており、さらに広めていきたいと思っています。

誰でも楽しめ、すぐにゲームができます。第2回めの今回は体育館の中で行いました。来年度からは、年3回に講習会を予定していますのでふるってご参加ください。



熱演中の小栗久江さん

今年度の文学講座は語り部の小栗久江さんをお迎えし、民話、現代・時代小説等バラエティにとんだお話をしてくださいました。

小栗さんは図書館や周辺の公民館でもご活躍の語り部で、1話目の「おこんじょうるり」から、登場人物ごとに声色を変え、その情緒豊かな表現に涙する人も...

映像の世界とは違い、それぞれの人の想像力によりいろいろな世界が広がったようです。

次年度も今年に引き続き開催する予定です。お楽しみに。

学習文化事業 1月19日(土)
「ひとり語り」